

諏訪之瀬島の噴火警戒レベルを2へ引下げ

本日（5日）11時00分に諏訪之瀬島の噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き下げました。引き続き、御岳（おたけ）火口から概ね1kmの範囲では警戒が必要です。

諏訪之瀬島では、令和3年3月30日から31日にかけて発生した噴火に伴い、大きな噴石が御岳（おたけ）火口から1km近くまで複数回飛散しており、その後も御岳火口から概ね2kmの範囲に噴石を飛散させる噴火が発生する可能性があったことから、同日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3に引き上げました。

4月1日以降、御岳火口から1km付近まで飛散する大きな噴石は観測されておらず、また、地殻変動などの観測データにも、火山活動の活発化を示す変化は認められていません。このため、御岳火口から概ね1kmを超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性が低くなったと考えられます。

これらのことから、本日（5日）11時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

一方、引き続き噴火活動が継続しており、御岳火口から概ね1kmの範囲では、大きな噴石が飛散する可能性があります。

御岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

※詳細については、気象庁HPをご確認ください。

気象庁ホームページ

ホーム > 火山登山者向けの情報提供ページ > 火山活動の状況（諏訪之瀬島）

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/511.html

問合せ先：福岡管区気象台 気象防災部 地域火山監視・警報センター
電話：092-725-3606 FAX：092-733-9125